

## 「小竹優美子の馬馬虎虎な

### 台湾ライフ：毎日感謝の日々」

ウイズ人材派遣センター 総経理

小竹 優美子



徒然なるままに日暮し、硯に向かわずパソコンに向かひて原稿を打つ。母らしくなく、且つ総経理らしからぬ小竹の、随筆Ⅱ雑文を書かせて頂く事とする。

#### 一 会社の概要・起業

台湾に嫁いってから数年間、外貿協会講師・生産性本部専任講師・大

学講師を並行して行っていた。二人目を出産した後も朝七時に家を出発し時には夜九時過ぎに帰宅というハードスケジュールは続いた。朝晩は母乳で育てていたのだが、日中は子供をベビーシッターに預けっ放しの形になってしまっし、出産してから気づいた事だが子供と生活するのが好きだから、仕事をしながらでももっと側にいる時間を増やしたいという欲張りな考えから起業を思い立った。専業主婦は私には向かないと自覚していたので、方向転換に走ったのであった。

弊社With人材派遣センターは元取った杵柄で、一九九四年に中国語・英語・日本語の語学講師派遣更に翻訳・通訳業務をメインとしてスタートし、後設立二年目から社名でもある人材派遣・人材紹介を加えた。「細やかなアフターケア／人材でお困りの際はWithの小竹小姐に電話しよう！」をキャッチフレーズにこつこつと努力を積み重ね、現在の信頼を勝ち取って来たと信じている。

大雑把な私であるが、お客様との緊密なコミュニケーション・アフターケアの万全を目指していない社員には大変厳しい指導を入れる。とにかくサービスマン業とは何かという教育には俄然燃える私である。更にここ数年は、台湾にいる日本人の方々が普段中々できない情報交換・親睦、生の声を掛け合うなどを目的とし、異業種交流会・北海道倶楽部・COMMUNICATIONSなどの集いを設立し主催させて頂いている。



異業種交流会

## 二 大病・台湾の教え↓「馬馬虎虎」や「差不多」

数年前に二度ほど大病をして病院に運ばれた。「もしかしたらこのまま死んでいってしまうのだろうか・・・」というほどの大病であったので、回復したときに、少しの事で動じなくなっている自分がいた。台湾人の「馬馬虎虎」や「差不多」も悪くないなあ、人間は自分をもっと楽に解放してやらなければいけないと思うようになった。台湾の人からリラックスして生きていく術を教わったような気がする。最近の私は大雑把が取柄のようで、人間《命と笑顔》さえあれば何とかなるわ・・・と開き直っている。

しかしながら、働くときは必死に働き、お客様には笑顔と誠心誠意で接するのが私のモットーである。お会いして下さったお客様には、いらぬと言われても私のささやかなパワーと癒しの笑顔を差し上げたいと思う。

## 三 未熟な総経理

私は未熟な人間であるおかげでお客様から色々教えて頂けることが沢山あり、本当に得をしていると思う。起業して間もない頃、某社N社長が「小竹さん、社員管理とは何ぞや」という質問を私に浴びせ、「こやつ未熟にて教え甲斐あり」と判断して下さったのか、その方の秘伝を教えて下さった。私は翌日から訓示通りに動いてみた。本当に驚く事に半年で売り上げは15%も伸び、私の心の負担も軽くなった。その秘伝の極意は今でも毎日励行しているが、これは結局その方からの遺言となり私が最後の弟子となったのかもしれない。心から恩師と仰ぎ、今でもそしてこれからも感謝し続けることだろう。

私は未熟であるが意外に素直（単純？）であるが為、お客さまの知恵を拝借し、助けて頂く事が多い。本当に皆様に感謝しても感謝しきれない・・・未熟な総経理・・・それが私である。

## 四 一日の生活・・・更に未熟な母・・・

朝五時半長女とともに起床。健康フリークの私はすぐにV字腹筋を約一〇〇回実行する。簡単な朝食を準備し、下の子を起こす。六時からお弁当を二つ作る。よくお母様方からお弁当を作るのは大変、面倒などと聞くが確かにそうだ。然しながら一生のうちの九年間（正確には二人の子は四学年違いなので十三年間）しかないのです、バランスや彩り更に子供達の喜ぶ顔を考え楽しみながら作っている。七時一〇分には子供たちを送り出し、自分の朝食、台所の片付け、時間が空けば愛犬の散歩に出かける。九時の出勤前に万歩計は既に五〇〇〇歩を越し、水を一本飲み終えている。水は一日に二リ程飲む。九時から六時までは勤務時間。夜お付き合ひがある時は勤務時間中に夕食の準備を済ませ、お客様と夕食・カラオケへ。夕方になるに連れ、お母さん系からお父さん系の生活に変わっていく。帰宅時間は敢えて書かない事とする。

未熟なのは総経理としてだけではなく、母としても未熟であるおかげで、子供たちに甘え助けられ教えられながら日々過ごしている。「ママは普通のお母さんと違う。お母さんらしくないよね。面白いよね。」という言葉を手を勝手に誉め言葉と解釈し、毎日笑いが耐えない我が家である。

余談であるが以前PTA会長をしていた時、お母さん方の感覚をあ

まり持ち合わせていない困った私を、他の役員さん方がサポートして下さり、助けられていた事を思い出す。その時皆さんに言われた言葉が「何も知らない（学校やPTAに関して先入観のないという意味らしい）駐在員ビジネスマンのような小竹さんと一緒にPTA活動ができて本当に良かった」というものであった。あの方々とは今でも交友があり、一緒にお食事をしたりカラオケに行ったりしながら、学校や主婦の生活に関して無知な私を教育して下さっている。

## 五 毎日の楽しみ方

社員には「毎日朝から晩まで家事・育児・仕事に追われ一体何が楽しくて生きているのですか？」などと尋ねられる事があるが確かにその通りである。辛いと思えば辛いといえる、しかし自分では短い時間に凝縮し充実した生活を送っていると思っっている。例えば休日にはパティオでのガーデニングを楽しみ後ティータイムに読書、更に子供や愛犬と遊び、花市や家具屋などを訪れ好きな物を買ひ……。月に数回子供たちを連れて映画やスパ・スイミングプール、温泉、夜店へと出かける。映画を見ている時自分ばかりと画面の何に入っているのではないかと思われる。うちの家族はキヤーとか、アレーとか映画を見ている時も極めて賑やかである。プールでも子供と石投げや水掛けなどの遊



パティオ

び相手をした後、泳ぎ始めると途中二、三度休む事はあるが一八〇〇メートル程をただひたすら泳ぎ続ける。雑念が頭を過ぎる事はあるができるだけ頭の中を空にし、魚のように泳ぐ……。小さなことにも喜びを感じ楽しむのは上手な方かもしれない。

## 六 台湾の旅

旅は大好きで台湾に来た頃はよく台湾国内の旅行をしたものだ。台中・台南・高雄・台東・花蓮などあちらこちらとよく回った。私には駐在で何年後には帰国するという一つの目安がない事や、子供たちとのんびり誰も知らない所で心を休めたいという気持ちが働くせい、海外や日本に帰国する事が多い。しかし最近日帰り足運べるような所に出かけるようと心掛けている。お世話になっている台湾に「ディスカバリー台湾&リカバリー台湾」というところだろうか。

## 七 最後に……

実家のお墓を守って下さっている我が尊敬する僧侶の説法に、「人は生きているのではなく生かされているのである。」という台詞がいつも登場するのだが、その言葉がぴったり当てはまる人間……。それが生かされている私であると思う。今日も明日も皆様にそして全てに感謝！